

**Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2018年 2月 8日公開**

.....

皆さんシャローム。アミール・ツアルファティです。現在、エルサレムにいます。今日、ユーチューブでライブが出来ることをとても嬉しく思います。どれぐらいの方がご覧になっているか分かりませんが、あと数分で始めます。今日お伝えするのは、こうして話している間にも、レバノン、シリア、イスラエルのガザ地区で、パレスチナ人との間で起こっている事です。あと数分でユーチューブライブを始めます。今回はとても面白いアップデートになると思います。シリアの劇的な展開についてお話しますから。私がずっと、シリア、ダマスカスに目を向けておくようにと言いつけて来たのを、皆さん覚えていらっしゃるでしょうか？それが今、私たちは、確かに信じがたい光景を目にしているのです。

では、始める前に主の御前に進み出て、祈りましょう。

お父様、この素晴らしい機会に感謝しています。

私たちは世の情勢を見て、理解しています。私たち、あなたの子どもは、暗闇にいるのではなく、使徒パウロが言ったように、いつなのか、どういう時なのかについては、教えてもらう必要がありません。あなたが完璧にご存知ですから。ですから、お父様、あなたが、あなたのご計画を明かされ、あなたの子どもである私たちは、完璧に知ることが出来ることに感謝します。

あなたに感謝し、あなたを祝福します。

イエスの御名によって。アーメン。

始める前にお知らせですが、2018年の海外講演予定を近々発表します。その中には、これまでに行ったことのない新しい国もあって、ルーマニアやオーストリア、南アフリカ、それから、ニュージーランドです。また、他の場所についても祈っていて、とても楽しみです。さらに詳細は、数日のうちにBehold Israelのフェイスブックページ、ユーチューブチャンネルでも発表しますが、特にウェブサイトとアプリでお知らせしています。どうか、Behold Israelの無料アプリをダウンロードしてください。そこで全ての情報がご覧いただけますから。

ということで、世界中で起こっている、驚きの状況についてお話ししましょう。まず最初に、良い知らせからお伝えします。サウジ当局が、インド航空のデリーからテルアビブ行きの方が、サウジ空軍上空のルートを飛行することを許可しました。これまでは、長年イスラエルからはるばるアジアへ向かう便は、最も長距離だったのです。サウジや湾岸諸国、イラン、イラクの上空を飛行することが出来なかったからです。私たちは、それらを禁じられていたため、紅海上空を通過して、これらの国を全て迂回して、目的地へ行っていたのです。サウジの、他の国々との好意的な関係を示す、もう一つの兆候がインドでした。これはある意味間接的で、サウジは、インドがテルアビブに行き、デリーに戻る途中に、サウジ上空を飛行することを許可したのです。ところで、私はずっと言って来ましたが、これらは非常に聖書的です。聖書の中には、シェバとデダンとして記されているサウジアラビアは、いずれ何らかの形で、イスラエルの味方に付く、彼らはいずれ、イスラエルに攻め込んで来る者たちを批判するようになる、と書いてあります。ですから、現在、サウジが、パレスチナ人た

ちのその言動を批判し、パレスチナ人たちに、首都としてエルサレムではなく、別の場所を提示しているだけでなく、今や、テルアビブに行き、そこからデリーに戻るための飛行機が、サウジ上空を飛行する事を許可しているのです。非常に興味深いことです。これら全ては、サウジとイスラエルの良好な関係だけでなく、イスラエルとインドとの良好な関係の賜物だと、私は思っています。とても興味深いですね。このように、聖書預言は戦争についてだけでなく、同盟や平和についても語っていて、これには非常に励まされます。ただ、サウジはこれを許可したことに、少々気まずさを感じていて、サウジの公式サイトだけは、それを否定しています。彼らが言いたいのは、自分たちはイスラエルに何も許可していない、ということで、しかしどう見ても彼らはインド当局にそれを認めており、インドによれば、彼らは来月からサウジアラビア上空を飛行するそうです。非常に面白いですね。

次に、この数時間、または数日の間に起こった、非常に興味深いことについてお話します。まず第一に、昨日、アメリカ空軍が、非常に劇的な展開を見せました。アメリカ空軍が、バッシュール・アサドの兵士や、その支援者たちのシリア軍護送部隊を破壊し、少なくとも100人を殺害しました。皆さん、アメリカが、クルド人を攻撃する道中にあつたシリア兵を狙撃したのです。私たちは彼らのことを「シリアの民主勢力・クルド人」と呼んでいますが、実際、アメリカの司令官が彼らを統率しています。トランプ大統領は、アメリカはクルドを援護する、と約束していますし、クルド人たちは唯一、ISISと戦っている人たちです。しかし、皆が彼らを好ましく思いません。トルコは彼らが気に入らないし、バッシュール・アサドも、彼らを気に入りません。その理由の大部分は他でもなく、彼らが石油が豊富にある地域を支配しているためです。これは、バッシュール・アサドが、シリア駐留から出来る限りの経済的利益を得るように、ロシアから唆され、圧力をかけられて、デリゾールまたは、シリア砂漠に向かって突き進んだのです。ところが、そのクルド人に対する攻撃が、アメリカによって止められ、100人以上の兵士が死亡しました。皆さん、これはどこも報道していませんよ。物凄いドラマティックだったのに、テレビもニュース機関も語ろうとしないのが、私には全く理解できません。私が伝えているのは、これによってシリアが怒っているだけでなく、ロシアはつい先ほど発表しました。彼らは激怒しているのです。何故でしょう？それは、ロシアは石油を狙っているからです。ロシアは、石油が欲しいのです。ロシアの言い分は、

「我々はシリアに長期間いて、あまりにも多くの兵士を失っているのだ。少なくとも、石油で経済的利益を得なければ。ただ、兵士が殺されるだけ、砂漠のど真ん中で様々な人と戦っているのに、我々にとっての経済的利益が何も無い。」

面白いのは、ロシアがある種の声明を発表したのですが、その中で彼らが言っているのは、

「攻撃は、我々が統率したものではない。アメリカの目標は、ISISと戦う事ではなく、シリア国内で経済的利益を得るためだ。」

面白いと思いませんか？

ロシアは、アメリカを批判しながら、自分たちの本音を暴露しているのです。

アメリカには、シリアの石油は必要ありません。

アメリカには、ロシアの想像をはるかに超える量の石油があります。

アメリカは、資源独立国です。

この事から、この議論全体が、筋が通っていない事が分かります。現在の状況は、非常に興味深いです。

次に、現在シリアで起こっていることをご説明しましょう。皆さんの多くが、これについて聞いていないでしょうから。これには本当に胸が痛みます。この3日間、明らかにもっと頻繁に起こっているでしょうが、とにかくこの3日間に、我々の想像を超えるほどに激しさを増しているのが、バッシヤール・アサドが、ロシアの戦闘機で、ダマスカス郊外の周辺を爆撃して、壊滅させています。ダマスカスは、こうして話している間にも、壊滅されています。ちなみに、イスラエルによってではありませんよ。バッシヤール・アサドとロシアによってです。また、信じがたいことに、これに関して話す時には、非常に注意しなければなりません、皆さんに言うておきます。彼らは化学兵器を使用しています。我々の所には証拠があります。動画も写真もあります。彼らは化学兵器を使用していて、現在、実に恐ろしい事が起こっています。昨日だけで65人が殺され、今日だけで35人が殺害されました。一昨日は50人、この3日間で死亡した数は、子どもたちだけでも35人以上です。もしイスラエルが、我々の周辺の誰かに対して、同じことを行なえば、国連安保理や全世界が何と云うか、想像出来るでしょう。これはシリアによって、シリアの人々に対して行なわれた、組織的な大量殺人ですよ。しかし、誰も何も言いません。全世界が、このとんでもない事に対して無関心です。つまり、イラン製の塩素ガスですが——これが興味深いことにこれらの材料は全部、軍用品を製造するドイツの会社から、イランに与えられたものです。非常に恐ろしいことです。ドイツの会社が、イランと取引していて、イランがこういったものを送り込んでいるのです。そしてイランは、イランでそれを行っているだけでなく、シリア国内でも、それを行っています。そこで、2日前の夜の出来事に至るのですが、イスラエルが更に一度空爆を行いました。今回も、ダマスカス郊外のJumeirah周辺の同じ研究施設、ダマスカスより5km離れた場所です。ここは2か月前にも攻撃されていて、2013年には激しく攻撃されています。この場所では2つのことが行なわれています。一つは、使用されている化学兵器を、彼らはそこで製造しています。もう一つは、恐らく我々にとって、これが最大の問題だと思いますが、「精密誘導軍需品」と呼ばれるものです。つまり、「くだらないミサイル」にシステムを搭載して、それを「スマートミサイル」に変えるのです。こういった誘導付き軍用品は、正確に標的に命中させて、付随被害を最小限に抑え、殺傷能力を増加させること、標的を効果的に殺害することを目的としています。これは、イスラエルが容認する事の出来ないものです。我々はここで、自分たちの最新技術に頼っていますから。そこへイランが、国境向こうの我々の敵に、このような技術を持ち込むと、我々の戦略技術の特権を侵害することになるからです。ということで、皆さん、イスラエルは、シリア政府が現在使用している、化学兵器を製造している工場を攻撃しました。またそこは、イスラエルに向けて使うための精密誘導軍需品も製造しています。

次に、イスラエルとレバノンの間で高まる緊張感についてお話ししましょう。数日前のアップデートでお伝えしましたが、数日前にイスラエルは、レバノン政府に

「イランに自国民を占拠させるな。」

と警告しました。イランは、レバノン国内に精密誘導軍需品と呼ばれるものを製造する工場を建てたいのです。彼らは、そこにロケットを持って行って、スマートロケットを造りたいのです。なぜイランがレバノン国内に建てたいかと言えば、彼らには、レバノンにそれを運び込む他の方法がないからです。シリアを通して運ばれる全ての武器は、イスラエル空軍によって組織的に破壊されます。だから、それならレバノン国内に工場を建てようじゃないか、と彼らは考えているのです。皆さん、イスラエルはレバノン国内に素晴らしい諜報機関を持っています。ここで大切な戦力を暴露はしませんが、一つ言えるのは、イランがレバノン国内で計画し、実行していることは、レバノン政府が知るよりも前に、我々は知っています。我々は全てのことを知っています

し、彼らのあらゆるペテンを知っています。そして、彼らがそれを知る前に、我々は政府に警告したのです。「もしそれが起こった時には、イスラエルは容認しない。我々はそれを破壊する」と。

事実、ベニヤミン・ネタニヤフ首相は、はるばるソチまで飛んで、ヴラディミール・プーチンと会談したのです。そこで彼はこう述べています。

「我々は、イランがシリアに確立するのを認めないだけでなく、彼らがレバノンに入ることも絶対に認めない。」レバノンには、イランの代理ヒズボラがいます。地元シーア派のヒズボラです。しかし、イランはこれらの建物をレバノン国内に建てるために、自分たちの兵士、頭脳、科学者たちを送っています。イスラエルは今の時点で、そのイランの計画を終わらせるために動いているだけでなく、さらにイスラエルとレバノンとの国境沿いに、何らかの壁を建てようとしています。イスラエルには、国連の同意を得た国境があり、「パープルライン」と呼ばれます。それが面白いことに、この24時間の間に、レバノン政府、レバノン内閣、レバノン国会は、国境の我々側にある、イスラエルの壁に反対しているのです。その反対する理由とは、それがあると、彼らが、我々を攻撃するのが困難になるから、というのです。面白いと思いませんか？国境の向こう側に、我々の敵がいます。敵は、我々が壁を建てていることで怒っているのです。敵は、彼らが我々を攻撃するために、何かを行なおうとするのを、我々が止めているから、怒っているのです。さらにもう一つ、私の知っている情報をお伝えすると、ヒズボラはレバノンからイスラエルまで、トンネルを掘ろうとしていました。イスラエルには解決策があります。テクノロジーを使った解決策です。それは、これらのトンネルを破壊するだけでなく、彼らには新しいトンネルを掘らせない、と明確に伝えます。この、イスラエルとレバノン国境で使われたのと同じ技術が、後にイスラエルによってガザ地区に貸し出され、現在はガザにあって、ハマスのトンネル建設を防ぎ、既に建設されているトンネルを探知します。

皆さん、バッシュール・アサドは大変なことになっています。毎日、兵士を失っていて、ISISは攻撃してきます。クルド人たちも、彼を手こずらせていますし、反政府勢力が国内にいて彼を手こずらせています。ヒズボラはシリア国内でどんどん兵士を失っています。ロシアは——ロシアの戦闘機が撃墜され、ロシア人のパイロットは自殺しました。彼は、ロシアの反政府勢力の手に、生きて陥る事を恐れたのです。だから、自殺しました。このように、ロシアも自国民を失っています。シリア兵士もあちらで死亡しています。では、スルタン・エルドアンはどうか？全く同じです。彼もクルドに対して軍事的行為を始めましたが、彼は今、非常に苦しんでいます。あちらでは、ほぼ毎日、クルド人が彼らに対して、新たな不意打ちをしているのです。ということで、現在起こっていることを見てください。イラン、トルコ、ロシアはシリア国内で攻撃されています。彼らは超怒り狂っていて、超イライラしています。あと、彼らに必要なのは、イスラエルが、誰もイスラエルを攻撃しないようにすることだけです。現在蓄積している全てのイライラが、やがて噴火します。そして、その怒りがイスラエルに向けられるのだと、私は思っています。とても興味深いことに、

#### 4 …イスラエルを守られる方は、まどろむこともなく、眠ることもない。

(詩篇 121:4)

驚くような神の守り、御使いの働きが、イスラエルの国境全体で起こるのだと思います。私はそう信じていますし、それを知っていますし、我々はそれを目にして、それを感じています。現在ツアーの皆さんと、ここにはいますが、レバノンからは銃声が聞こえ、爆破音がシリアから聞こえるのに、イスラエルは物凄く美しく、静寂で平安です。イスラエルを守られる方は、まどろむこともなく、眠ることもない。

ガザでは、現在パレスチナ人との間に、新たな緊張が生じています。パレスチナ人がイライラしているのは、イスラエルのせいだけでなく、アメリカのせいでもなく、彼ら自身の指導者たちのせいです。パレスチナ人たちが、不景気やお金がなくて苦しんでいる間に、彼らの大統領アッバースはプライベートジェットを約5000万ドルで購入したのです。我々は、実際のテールナンバーも知っていますよ。「T7-PAL」「PAL」とはパレスチナのPALです。「T7-PAL」これはパレスチナ大統領のプライベートジェットの番号です。寝室があり、リビングルームがあって、それから…皆さん、これはボーイング737のビジネス版です。イスラエルの首相でさえ、プライベートジェットは持っていません。我々のGDP（国内総生産）は、パレスチナの100倍です。パレスチナの人々は、自分たちの政府、民、政権によって日々奪われているのです。彼らは、全ての目をイスラエルに向けさせようとしています。自分たちの恥を覆う方法がないからです。

ということで、シリアの状況についてお話ししました。あちらのロシア人たちに起こっていることについて、お話ししました。アメリカが行なっていることについても、お話ししました。アメリカは、アメリカが約束したことを行なっています。とても面白いのが、トランプ大統領は、クルド人に対する彼の約束を守って、支援する以上のことを行なっています。グアテマラの大統領も、エルサレムへの大使館移転を決断したことに対して、彼はグアテマラ大統領にお礼を述べました。大統領は、ただ口だけでなく、行動も伴っていて、言った事を行動によって証明しているのです。面白いのは、彼はチームを送り込んで周辺を巡らせ、大使館をエルサレムに移転させることに関して、政府たちを説得しようとしています。興味深くないですか？彼は、自分がそれを決断しただけでなく、他の国にも、それを行うための手助けをしているのです。彼のことをどう言おうと構いませんが、ここにいる我々は、彼のことが大好きですよ。恐らく、このメディアは彼のことが気に入らないでしょうが、ミデヤン人（メディア）は皆リベラルで、超グローバリストですから、何も見えていないのです。彼らは、くだらないことしか語りません。彼の髪型がどうだとか、奥さんがどうだとか、敵対する本とか。物凄く安っぽいゴシップばかりを伝えて、実際に起こっていることを誰も伝えません。世界中で起こっている活動については、誰も語りません。アメリカの皆さんに言うておきますよ。皆さんには素晴らしい大統領がいて、皆さんの現在の政府は素晴らしいです。ただ、膿を出し切るには、時間がかかるものです。トランプ大統領の最大の課題は何かと聞かれるなら、彼自身の国の諜報社会でしょう。グローバリストが深く浸透している場所があるとすれば、それは諜報社会です。一つ、はっきりと言えるのは、悪魔的な活動が起こっています。組織的な秘密結社が、どこかに編成されていて、アメリカの秘密結社の下、いくつかの会議は、アメリカ国内の軍事施設で持たれています。思い違いをしてはいけません。膿を出すには、時間がかかるものです。しかし今のところ、彼に対する全ての申し立てが崩壊しています。それは、私が思うに、神が目的を持って一時の間、彼をあの立場に置いたからで、その様子を見てみると、とても面白いのです。非常に面白いです。以上が今日のアップデートです。

皆さんにお伝えしたいのは、私たちは多くの場合、メディアを見ようとしたり、それからメディアを引用したり、信用して、誤った事を信じ込ませられがちです。特に、トランプ大統領に関して、メディアは彼のことを狂ったように見せかけるか、不安定なように見せています。そして、多くのクリスチャンたちが、ある種の懐疑心のようなものを持っているのを知っています。どう受け止めて良いのか分からないのです。ただ、私に言えることは、正直に言えば、トランプ大統領がクリスチャンかどうかは、私には分かりません。彼と罪人の祈

りをした、という人を、私も知っています。彼がキリスト教を公言していることも知っています。しかし、今の時点で、彼が実際にその全部を理解しているのかどうか、私には分かりません。しかし、私に言えるのは、現在、神が彼のことを大いに用いておられる、ということです。彼以前の大統領たちには決して出来なかったこと、そして恐らくこれは彼の後に出る、どんな大統領にも出来ないでしょう。彼は、目的があって一時の間、そこに置かれているのだ、と私は心の底から思います。私が思っていないのは——人々はトランプと交わしたと思われる、牧師たちの言葉を引用して、だからトランプが聖書預言を成就させるのだ、と信じる人がいますが、私は個人的にはそう思いません。この地上で、神の計画を成就させるための、彼らの役割を、世界の指導者たちが完全に理解しているとは、私は思いません。実際、私は、彼らがそれを良く知らないことを知っています。それが素晴らしいところです。聖書には、私たち、神の民である私たちが、時と季節を知っている、とあります。そして、パウロは第一テサロニケ5章で次のように書いています。

- 1 …それらがいつなのか、またどういう時かについては、あなたがたは私たちに書いてもらう必要がありません。
- 2 …あなたがた自身がよく承知しているからです。

(第一テサロニケ5:1~2)

私たち、神の民は知っているのです。私たちに物凄い武器があつて、それは知識です。私たちは、書を初めから終わりまで知っています。神のすべてのご計画が、この書（聖書）に書かれています。それは、一番初めから一番終わりまで、皆さん、見えるでしょうか。ヘブル語と、英語、私は他の言語は持っていませんが。ただ、皆さんに知っていただきたいのは、神の御言葉は、昨日も今日も永遠に同じで、神の御言葉がこれから起こる事をはっきりと告げているのです。世の指導者たちは、自分たちが賢いと思っているから、そのように行動します。時に彼らは、神の御心に適うアドバイスを受けて、それが正しいことだと判断して、行動することもあるでしょう。しかし彼らは、実際に何が起きているかの全てを理解しているわけではありません。神は御座についておられ、その神が、主と主に油そそがれた者、彼のメシアに対して敵対して来る国々の指導者たちを笑われます。それから、いつも言いますが、私たちは歩いているのではなく、走っているのです。私たちは、いくつもの素晴らしいことの成就に向かって、走っているのです。そして、私が心から信じているのは、次の策略、中東で次に大爆破をもたらすのは、ダマスカスの破滅だと思っています。私たちが話をする時は、ほぼ毎回、ダマスカスの更に多くの部分が破壊されている、という情報が入って来ます。だから、ダマスカスから目を離さないでください。シリアから目を離さないでください。あちらでの、ロシア、イラン、トルコの同盟から目を離さないでください。ヨーロッパで起こっていることに、目を向けておいてください。ヨーロッパは、さらにどんどん絶望的になって来ています。そしていずれ、旧ローマ帝国の地域が、復活したローマ帝国となり、そこから反キリストが出て来る、と私は信じています。それから、私が心底信じているのは、反キリストが興る準備が整いつつある、ということです。そして、現在準備が整いつつある戦争が起こる前に、私たち神の子どもたちは、体を真っ直ぐにして頭を上げなければなりません。私たちの贖いが近づいているからです。これは素晴らしいことです。私たちは神の子どもとして、恐れるべきではありません。私たちは、備えなければなりません。私たち、神の子どもはワクワクしているはずだからです。もうすぐ、主にお会いできるのですから。パウロは言いました。

- 7 私は勇敢に戦い、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。

- 8 今からは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。かの日には、正しい審判者である主が、それを私に授けてくださるのです。私だけでなく、主の現れを慕っている者には、だれにでも授けてくれるのです。

(第二テモテ 4:7~8)

ですから、もしあなたが、主に現れてほしいと思っているのなら、もしあなたが、主が来られてあなたを連れて行ってくださるのを待ち望んでいるのなら、あなたにも義の栄冠が授けられるのです。しかし、それまでは…いつも言っていますが、それまでは、私たちは従事しなければなりません。それまでは私たちは世に伝えなければなりません。この数日間で、私が耳にしたことの一つに、福音派支配層は、いつもイスラエルのことしか話さない、という批判です。それは違います。イスラエルは、神の時計です。イスラエルは、神のご性質、主の愛、主のあわれみの図で、それと、約束を守る神のご性質の図です。そして、イスラエルは、神が確かに大きな事をしておられる、という、世にとっては励みなのです。しかし、キリストを通してでなければ、誰も御父のところには行けません。だから私たちは、全ての人に勧めるのです。神が、イスラエルで、イスラエルに対して、イスラエルを通してしておられることを見るだけでなく、それぞれが人生を備え、生活を正す。そして、ただイエスだけを信頼する。それだけです。私の中でどんどん強くなっている思いがあるのですが、現在のキリスト教の中で、イスラエルを見捨てようとする人たちがどんどん、どんどん増えていくと思います。それは、クリスチャンが関わるべきではないことだ、と彼らが思っているからです。しかし皆さん、エゼキエル 36 章を読めば、神がイスラエルを元に戻される、それによって、彼が神であることを国々が知るためだ、と書かれてあります。神が、イスラエルにされていることは、イスラエルの為だけではありません。神が、どういうお方であるのかを、世が見るためです。イスラエルの全局面は、神ご自身がアブラハムを通して始められたのです。神が、約束に忠実であられる、というそのご性質を、イスラエル国家を通して、示しておられるのです。それをあなたが排除することは出来ません。それを見放すことは出来ません。あなたがそれを消し去ることは出来ないのです。あなたがそれをした瞬間に、あなたは神が世に示された例を捨てているのです。神の、世に対する示し方、神がこれを通して、世に語っておられるのです。

「ほら、わたしは 2000 年の後に、約束を成就させた。わたしの契約を果たした。私の計画を成就させたのだ。国全体に対する、わたしの目的を果たしたのだ。わたしが、彼らにしたのと同じように、わたしはあなたにも行おう。」

面白いのが、フェイスブックでは多くの方が好意的で、興味深い記事をいろいろと書いてくださいます。反対にユーチューブでは、たくさん興味深い意見がありますが、私は気にしません。あなたが私のことをどう思おうと、私には関係ありません。私はただの人ですし、大事なものは、私ではありません。大切なのは、私の考えではなく、私の発言でもありません。大切なのは、神が言っておられること、神の御言葉です。一つ言っておきますが、もし、あなたが神の御言葉に従っていないなら、神の御言葉を信じていないなら、神の動きに備えていないなら、困るのはあなたです。この世の中は、もうすぐ沸点にまで達します。しかし、私たちの神は、その民を愛しておられ、彼らが備え、準備が出来ているのを待ち望んでおられます。彼らが、主がすぐにも戻って来て、連れ去ってくださるのを期待して、待ち望んでいることを、望んでおられます。

ご視聴いただき、ありがとうございました。エルサレムより、ライブ報告でした。神の御言葉が虚しく戻らず、必ず望む事を成し遂げ、言い放ったことが成功されますよう、祈ります。ありがとうございます。

では、皆さん全員の上に、アロンの祝福を宣言したいと思います。

	ヴェイシェメラハー		アドナーイ		イエヴァーレフハー	
	וְיִשְׁמְרֶךָ		יְהוָה		יְבָרְכֶךָ	
	..(主が)あなたを守られますように		主が		あなたを祝福し	
ヴィーフネツカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	ヤーエール		
וְיַתְנֶךָ	אֶלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יָאֵר		
..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし		
シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	イッサー
שְׁלוֹם	לְךָ	וְיִשֶׁם	אֶלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。  
 25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。  
 26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

あらゆる理解を超える平安、この世が与える事の出来ない、世が理解することすら出来ない平安です。それは、平和の神によって与えられるもの、平和の君、平和の主、彼によって、ここでも、どこでも、いつでも与えられる平安です。

イエス、イエシュアの御名によって祈ります。アーメン。

アーメン！ God bless you!

ご視聴くださり、ありがとうございます。今回、YouTubeでは、記録的な視聴者数でした。現在視聴してくださっている数は、10,000人以上です。これから、さらに多くの方が訪れるでしょう。可能であれば、どうか、この動画を出来る限り多くの人とシェアしてください。私たちの仕事は、城壁の見張り人、私たちの仕事は、世の中にこれから起こる事を伝えるのです。人が信じようが、信じなかりょうが、あなたは伝えなければなりません。ありがとうございます。God bless you!

エルサレムより、シャローム！ さようなら。